

"生きがい"づくりは みんなの手で

老人福祉週間

9月15日～21日

家庭での役割分担を!!

お年寄りに生きがいを

— そのおばあちゃんは、毎朝掃除をすることが、家庭の中での自分の役割と考え、何よりの生きがいと感じていました。

ところが、ある日お嫁さんが「そんなこと、しなくていいの」と、掃除機を取り上げてしまったその日から、おばあちゃんは強度の便秘に悩まされ、とうとう寝こんでしまいました。それがまた掃除をさせてもらうようになったら、ウソのように便秘は治ったということです。

— ある農家のできごとです。

農繁期でネコの手も借りたいほどの忙しいとき、その家の老人は何かの役に立ちたいと田んぼに出て行ったのですが、「邪魔になるから、引っ込んでいて」といわれ、明るく朝、自殺を試みたということです。

「何もしないで、ジツとしていけばいいのよ」という言葉ぐらいお年寄りにとって残酷な言葉はありません。

のけ者にされないこと、つまり自分は役に立つ存在であるという自信と、自分のことは自分でやれるという気負いが、日々お年寄りの心の張り、生きるバ

ネになっっているのです。

家庭では、お年寄りの役割分担をみんなで考えましょう。お年寄りは自分の役割を通して、家族との接点を持ち、生きがいを見いだしていくのです。



お年寄りと孫の教育

お年寄りにとって、孫ほどいとおしく、かわいものはありません。老後の楽しみの一つは孫の世話をし、成長を見守ることです。このようなお年寄りの心理を、周囲は十分くみとってあげることが大切です。

「昔と今は時代が違うから、よけいな口出しはしないで」とばかり、育児にしても、しつけにしても、いっさい口出しをさせないというのは、考えものです。

確かに、退屈のぎにネコカ

多彩な催し物を用意

敬老行事を開催

町と社会福祉協議会では、老人福祉週間の一環として、敬老行事を左記のとおり開催いたします。

多数のご来場をお待ちいたしております。

- 記
- 1、日時 九月十四日(金) 受付九時・開会十時
 - 2、場所 光町体育館

3、行事内容

アトラクション(三遊亭遊朝 他による寄席と老人クラブ演芸大会)

※来場者は、座ぶとんを持参してください。



つまり、育児・しつけは親の責任であると考え、お年寄りに家庭教育の一端としてのよき協力者、よきアドバイザーになってもらう——— こういう役割分担について話し合ってみるのもいいでしょう。

おじいさん、おばあさんは、文字通り人生の先輩です。お年寄りの知恵と経験を家庭教育に生かすことは、子供の将来に大きなプラスになるでしょう。

また、そうした親子三代にわたる家庭での触れ合いが、お年寄り自身の生きがいにもつながっていくのではないのでしょうか。